

1. 少子化・グローバル化による社会の変容と 地域間ネットワークデザイン

大学連携講座

「少子化・グローバル化による社会の変容と地域間ネットワーク・デザイン」

趣旨

少子化、グローバル化によって地方は人口減少等、様々な地域課題を抱えている。しかしながら、地域の団体が広域的連携することで効率的に課題を解決することが可能である。そのためには、地域における多様な団体がネットワークを構築し、協力できる体制を考えることが必要である。

本講座では、「少子化・グローバル化による社会の変容と地域間ネットワーク・デザイン」と題して、地域におけるネットワーク構築のあり方について考えた。

常葉大学法学部 地域法政策研究・実践センターは、大学連携講座の事業を通じて地域との連携を図った。このような取り組みを通じて、大学が地域における「場」として、大学と地域との連携に寄与する土台を形成することができた。

- 1 大学連携講座の名称：第 1 回 地域における安全とネットワーク
- 2 主担当大学及び所属：常葉大学法学部 地域法政策研究・実践センター
- 3 連携先大学及び所属：なし
- 4 開催日時： 7月8 日（土）14時～17時
- 5 開催場所：常葉大学水落校舎
- 6 参加者数：45 人（一般 15 人、大学生 30 人）
- 7 事業の概要と成果（講師、要旨を含む）：

少子高齢化に伴い、安全で安心なまちづくりが必要とされている。地域の絆が薄れているため、地域の各団体がネットワークを形成することが必要である。

上川 陽子衆議院議員による基調講演「最近の犯罪と罰則化」では、最近の刑法の改正における性犯罪の厳罰化、再犯の問題が取り上げられ、地域の協力体制の下、再犯を防ぐことの重要性が強調された。川村法彦氏（静岡県くらし・環境部県民生活局くらし交通安全課くらし安全班主幹）の「犯罪の起きにくい社会づくり」では、犯罪に関するデータをもとに、地域における高齢者や子供の見守りの必要性が述べられた。木村佐枝子准教授（健康プロデュース学部心身マネジメント学科）は、「地域連携による大学生の防犯ボランティア活動」と題し、常葉大学の学生による実践を通じた地域貢献の事例を紹介した。静岡市企画課長松浦高之氏から、防犯カメラに対する静岡市の助成等、防犯をめぐる最新の施策について紹介があり、細川壮平教授（法学部）は刑法の視点から防犯活動にコメントをした。

浜松キャンパスの学生から実際に行っている防犯活動の紹介がなされ、地域の方からは、地域で学生に活動してもらうためにはどうしたらよいか等、質問が出された。学生が地域における安全をいかに守るべきか、大学としてどのように関わるかについて考える機会になり、大学と地域とのネットワークの土台が形成された。特に、被害者のみならず、再犯防止にむけた地域の支援や子供が犯罪に巻き込まれないよう見守り、子供自身による注意を地域で行う必要がある。大学生が犯罪防止に向けた地道な取り組みに参加することが地域の方から期待されている。大学生の団体と地域とをつなぐ手段が少ないため、今後は、地域のニーズを受けとめる窓口が欲しいとの意見が多くみられた。

- ・基調講演「最近の犯罪と厳罰化」上川 陽子（衆議院議員）
 - ・講演「犯罪の起きにくい社会づくり」川村 法彦（静岡県くらし・環境部県民生活局 くらし交通安全くらし安全班）
 - ・講演「地域における安全とネットワーク」木村佐枝子（常葉大学准教授）
- コメンテーター
- 松浦 高之（静岡市企画課課長）
- 細川 壮平（常葉大学法学部教授）

- 1 大学連携講座の名称：第 2 回 地域における演劇とネットワークづくり
- 2 主担当大学及び所属：常葉大学法学部 地域法政策研究・実践センター
- 3 連携先大学及び所属：静岡産業大学
- 4 開催日時： 7月22日（土）14時～17時
- 5 開催場所： もくせい会館
- 6 参加者数： 45人（一般 30人、大学生 15人）
- 7 事業の概要と成果（講師、要旨を含む）：

「地域における演劇とネットワークづくり」と題して長谷川孝治氏（青森県立美術館舞台芸術総監督・劇作家・演出家）が野外劇「津軽」を題材にしながらか、地域における劇団のあり方について基調講演を行った。成島洋子氏（SPAC 芸術局長）、小泉祐一郎氏（静岡産業大学情報学部教授）、安武伸朗氏（常葉大学造形学部教授）、中島一彦氏（静岡市観光交流文化局長）がシンポジウムを行い、演劇によって作り上げる地域の魅力や継続する方法について話し合った。

7月21日（金曜日）の関連ワークショップでは、学生たちが演劇による地域おこしや身体を使ったコミュニケーションのとり方を学んだ。

7月23日（日曜日）、関連シンポジウムでは、南アルプスユネスコエコパーク井川ビジターセンターで栗下浩信氏（自治会連合会会長）等から、井川における人口減少、移住、地域における伝統芸能の承継、音楽祭を活用した地域づくりが紹介され、長谷川幸治氏が青森県の過疎地における演劇活動や読み聞かせ活動の広がりについて紹介した。

参加学生からは今後も地域との話し合いを継続し、アートを活かしたまちづくりに関わっていききたいとの意見が聞かれた。

・基調講演 「地域における演劇とネットワークづくり」長谷川孝治（劇作家・演出家）

・シンポジウム「地域における演劇とネットワーク」

小泉 祐一郎（静岡産業大学教授）

中島 一彦（静岡市企画局政策推進統括監）

成島 洋子（SPAC 芸術局長）

安武 伸朗（常葉大学造形学部教授）

- 1 大学連携講座の名称：第3回 地域における文化の継承とネットワーク
- 2 主担当大学及び所属：常葉大学法学部 地域法政策研究・実践センター
- 3 連携先大学及び所属：静岡文化芸術大学
- 4 開催日時：11月19日（日）14時～17時
- 5 開催場所：掛川市大日本報徳社
- 6 参加者数：30人（一般 20人、大学生 10人）
- 7 事業の概要と成果（講師、要旨を含む）：

「創造的産業と税制優遇 007 から藤田そして U2 へ」と題してシグリッド・ヘメルス教授（エラスムス大学法学部）が基調講演を行った。天内大樹講師（静岡文化芸術大学デザイン学部）は、浜松・寺島町リノベーション学生ワークショップ」の実践報告を行った。土屋和男教授（造形学部）、杉山智之非常勤講師（造形学部）、造形学部環境デザインコース3年生が「掛川・松ヶ岡の活用・継承」と題し、実践報告を行った。ディスカッション「見えがくれする掛川 建築を使い続ける・街を持続させる」では、地域において文化を継承・持続し、まちづくりに活かしていくためのネットワークづくり、地域で市民・行政・大学が連携して歴史的建造物や地域資源を維持・活用する取り組みを通じて歴史的建造物の価値について考えた。参加した学生からは「掛川市全体が文化財に力を入れている」、「市民が主導して歴史的建造物を保全している」、「他大学の取り組みを知ることができた」といった感想が聞かれた。なお、当日は茶エンナーレが開催されていたため、来場できなかった関係者が多かった。

- ・基調講演 「文化政策と税のインセンティブ」

Sigrid Hemels（エラスムス大学教授）

- ・実践報告「掛川市・松ヶ岡の活用・継承」

土屋 和男（常葉大学 造形学部 教授）

杉山 智之（常葉大学 造形学部非常勤講師）

常葉大学造形学部環境デザインコース3年生・掛川市教育委員会

- ・実践報告「浜松コンヴァージョン建築マップ」

天内 大樹（静岡文化芸術大学 デザイン学部 講師）

- ・ディスカッション「見えがくれする掛川 建築を使い続ける・街を持続させる」

天内 大樹・杉山 智之・「松ヶ岡を愛する会」・掛川市・掛川市教育委員会

ファシリテーター 土屋 和男

少子化・グローバル化による社会の変容と地域間ネットワーク・デザイン アンケート集計結果

	第1回	第2回	第3回	合計
受講者数	50	50	35	135
回答者数	22	17	9	48

1 今回の講座はどのように知りましたか(複数回答可)

選択肢	第1回	第2回	第3回	合計
広報ちらし・自治体等の広報誌	8	2	1	11
SNS(フェイスブック、ツイッターなど)	0	0	0	0
SNS以外のインターネット情報	0	0	0	0
友人・知人から聞いた	4	10	3	17
その他	11	3	5	19
無回答	0	2	0	2
合計	22	17	9	49

2-1 講座の難易度は?

選択肢	第1回	第2回	第3回	合計
易しかった	5	5	1	11
やや易しかった	5	2	0	7
やや難しかった	9	9	6	24
難しかった	2	1	0	3
無回答	1	0	2	3
合計	22	17	9	48

2-2 講座の理解度は?

選択肢	第1回	第2回	第3回	合計
理解できた	9	5	3	17
やや理解できた	11	11	5	27
あまり理解できなかった	1	1	0	2
理解できなかった	0	0	0	0
無回答	1	0	1	2
合計	22	17	9	48

2-3 講座の満足度は?

選択肢	第1回	第2回	第3回	合計
満足できた	10	5	7	22
やや満足できた	10	11	1	22
あまり満足できなかった	0	1	0	1
満足できなかった	1	0	0	1
無回答	1	0	1	2
合計	22	17	9	48

【回答者の属性】

居住地	第1回	第2回	第3回	合計
県内	12	12	5	29
県外	0	0	0	0
無回答	10	5	4	19
合計	22	17	9	48

《性別》

性別	第1回	第2回	第3回	合計
男	5	7	5	17
女	8	5	1	14
無回答	9	5	3	17
合計	22	17	9	48

《年代》

年代	第1回	第2回	第3回	合計
10代以下	0	0	0	0
10代	1	2	0	3
20代	6	6	2	14
30代	1	1	0	2
40代	0	2	0	2
50代	4	0	2	6
60代	0	0	2	2
70代	1	0	0	1
80代	0	0	0	0
無回答	9	6	3	18
合計	22	17	9	48



とき **7月8日(土)**

14:00~17:00

場所 常葉大学水落校舎 4階 403
住所: 静岡市葵区水落町1-30
定員: 200名 申し込み不要・無料



お問い合わせ
常葉大学水落校舎 住所: 静岡市葵区水落町1-30
Tel. **054-297-3200**

公共交通機関にておいでください
しまつジャストラインバス 神原駅より徒歩
約15分の全路程(水落町もくせい会館入口有常葉大学
水落校舎前)下車 徒歩1分

第1回

地域における安全とネットワーク 開催詳細

基調講演「最近の犯罪と罰則化」(仮題)

2008年 内閣府特命担当大臣就任
(少子化対策、男女共同参画、食育、青少年育成)
「ワーク・ライフ・バランス憲章及び行動指針」策定
2008年 初代公文書管理担当大臣就任
2014年 法務大臣就任



上川 陽子氏
衆議院議員

講演「犯罪の起きにくい社会づくり」

2001年 静岡県警察官
2015年 湖西警察署生活安全課長
2017年 静岡県くらし・環境部県民生活局
くらし交通安全課くらし安全班 主幹



川村 法彦氏

講演「地域連携による大学生の防犯ボランティア活動」

常葉大学健康プロデュース学部心身マネジメント学科 准教授
常葉大学大学院健康科学研究科臨床心理学専攻 准教授
ボランティアサークルThunderBirds 顧問
3.11はままつ東北復興プロジェクト・BBS会顧問



木村佐枝子氏

コメンテーター



常葉大学 法学部教授
防犯サークルJUSTICE 顧問



静岡市企画局参与兼企画課長

細川 壮平氏 松浦 高之氏



とき **7月22日(土)**

14:00~17:00

場所 〒420-0839 静岡市葵区藤丘3-6-1
静岡県総合研修所もくせい会館
定員: 100名 申込み不要・無料



お問い合わせ
常葉大学水落校舎 住所: 静岡市葵区水落町1-30
Tel. **054-297-3200**

公共交通機関にておいでください
しまつジャストラインバス 水落町もくせい会館
入口有常葉大学水落校舎前

開催詳細

基調講演

「地域における演劇を通じたネットワーク」

1978年 劇団弘前劇場を結成、以来創作・演出を担当し、「静かな演劇」の先駆的な作家として注目されている。日本劇作家協会最優秀新人戯曲賞受賞。主な作品 戯曲「職員室の午後」「家には高い木があった」「蒼色の空」など。戯曲集に『弘前劇場の二つの場所』など。浪岡町(現青森市)に生まれ、現在も在住。



長谷川孝治 青森県立美術館舞台芸術部監督・作家・演出家

シンポジウム

「地域における演劇とネットワーク」

成島 洋子



SPAC芸術局長

小泉祐一郎



静岡産業大学
情報学部教授

安武 伸朗



常葉大学
造形学部教授

中島 一彦



静岡市観光
交流文化局長

2017 大学連携講座
地域における芸術とネットワークづくり

2017年7月23日(日) 9:00 - 12:00
南アルプスユネスコエコパーク

ワークショップ
「私たちの井川～井川の魅力を発信してみよう～」

静岡県では人口減少が問題となっています。若者の流出を食い止めるには、地域の魅力を知ってもらうことが大切です。みんなで、アートを使って井川の魅力を伝えてみましょう。

主催 井川町 南アルプスユネスコエコパークに
会場 井川町 井川コワーキング
東海大学水窪校舎
地域連携推進室 渡部ひとみ

- ミッション1 自己紹介・グループ作り
私たちにとっての井川～魅力を考える～
井川の魅力について話し合い、魅力を表現する
手法について決めましょう。
- ミッション2 私たちの井川～井川の魅力を発信してみよう～
井川の良いところを絵もしくはコメントで自由に描
いてみましょう。
写真、押し花等はポンドで貼り付けます。
動画のストーリーを組み立ててみましょう。
- ミッション3 完成・未完成作品を各自発表しましょう。
講評し合った後、発信してみましょう。

お問い合わせ
常葉大学水窪校舎 静岡県東区水窪1-30
Tel.054-297-3200

申込み不要・無料
どなたでもお気軽にご参加ください。

地域における演劇とネットワークづくり 2017 大学連携講座

2017年7月23日(日) 13:00 - 15:00
南アルプスユネスコエコパーク
シンポジウム
「地域におけるアート」

地域の魅力を高めるための「アート」の活用。
わかりやすく発信するための「アート」のあり方を考えます。

主催 井川町 常葉大学水窪校舎に
会場 井川町 井川コワーキング
常葉大学水窪校舎
地域連携推進室 渡部ひとみ

開催詳細

「最近の井川のこと～音楽祭など」 栗下 浩信氏
井川自治会会長の講話

「井川の魅力～移住」 遠藤 基氏
井川自治会副会長の講話

「地域での演劇」 横山 央氏
SPAC会長の講話

「井川の魅力を発信する方法」 加藤 憲一氏
静岡県東区井川出身

「地域でのアートの持続可能性～
青森での体験から」 長谷川孝治氏
青森県立美術院院長の講話

1978年 青森県立美術院を卒業。以来演劇・演出を担い、「静
かな演劇」の先駆者として注目されている。
日本演劇学会常任幹事・理事・常任幹事、
演劇 青森県立美術院の幹事等に携わり、演劇
の発展に貢献。青森県立美術院の二つの施設など、演劇
即ち演劇院に生まれ、成長を遂げた。

お問い合わせ
常葉大学水窪校舎
静岡県東区水窪1-30
Tel.054-297-3200

申込み不要・無料
どなたでもお気軽にご参加ください。

大学連携講座 2017

「学びを、アートの力で広げる」をテーマに地域と連携したネットワークづくり。第1回
地域における
文化の持続とネットワーク

2017年11月19日(日) 14:00-17:00
大日本報徳社 大講堂

講演者 井川町長 渡部ひとみ (講演題目は後述参照)
定員 100名 申込み不要・無料
講演料 1000円 申込者100名まで 聴取料は別途あり 聴取料はアート・デザイン講座

申し込み・問い合わせ
054-297-3200
054-297-3200
054-297-3200
054-297-3200

「学びを、アートの力で広げる」をテーマに地域と連携したネットワークづくり。第2回
地域における
文化の持続とネットワーク

地域において文化を継承・発展し、未来に引き継いでいくための取組
を促進するネットワークづくりの重要性が注目されています。
地域の中で、行政・大学が連携して文化の継承や発展を推進す
る取組が盛んに行われています。

講演者 「文化政策と我」 (講演者)
Prof. Sight member シフト・ヘールス
(シラカワ・ユキエ) 東海大学 教授

講演者 「演劇」 (講演者) 渡部 ひとみ
土屋 寛樹 (常葉大学 常葉校舎 教授)
井川 賢二 (井川町 常葉校舎 常葉大学 常葉校舎 教授)
常葉大学 常葉校舎 常葉校舎 常葉大学 常葉校舎 常葉大学 常葉校舎

講演者 「演劇」 (講演者) 井川 賢二
井川 賢二 (井川町 常葉校舎 常葉大学 常葉校舎 常葉大学 常葉校舎)

ディスカッション
「未来がくれるもの」 渡部ひとみ (講演者)

2017年11月19日(日)
会場 大日本報徳社 大講堂
講演料 1000円
(講演料は別途あり 聴取料は別途あり)